



株式会社 F Cホールディングス

6542 東証スタンダード

2025年6月期 第3四半期決算補足説明資料



基本は技術

目次

1. 第3四半期決算報告

PL／受注高・売上高／BS／CF

2. 2025年6月期通期の計画

通期（FY2025）の計画値

PBR向上施策／株主還元施策

1. 第3四半期決算報告

- ・PL 損益計算書
- ・受注高・売上高
- ・BS 貸借対照表
- ・CF キャッシュ・フロー計算書



PL 損益計算書

総受注高は前年に比べて減少。売上高・利益は前期超え。特別損益の影響あり

◆特別損益の内容：前期は子会社で保険契約の見直しによる返戻金あり

	FY2024 第3四半期 (百万円)	FY2025 第3四半期 (百万円)	増減	
			(百万円)	(%)
総受注高（繰越含む）	11,588	11,041	△547	△4.7
売上高	6,381	6,414	33	0.5
営業利益	777	890	113	14.5
経常利益	777	869	92	11.8
特別損益	220	△8	△228	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	635	584	△51	△8.0

※本表では表示桁未満の端数調整があります

受注・売上状況①

国内外別総受注高等の状況

期中受注高は国内外ともに減少。国内は回復基調、海外は新規受注の獲得が必須

◆海外事業は四半期営業赤字幅が増加。堅調な国内事業でカバーし、全体では増収・増益

		FY2024 第3四半期 (百万円)	FY2025 第3四半期 (百万円)	増減	
				(百万円)	(%)
国内	受注高 (期中)	5,495	5,417	△77	△1.4
	売上高	5,958	5,995	37	0.6
	売上総利益	1,980	2,018	38	1.9
	営業利益	781	905	123	15.8
海外	受注高 (期中)	616	51	△565	△91.6
	売上高	423	418	△5	△1.2
	売上総利益	86	40	△46	△53.5
	営業利益	△4	△15	△11	△275.0

受注・売上状況② 分野別売上高

災害復旧分野等の影響による変動はあるが、各分野ともに概ね計画どおり推移

◆社会インフラ、防災分野は、契約工期の影響があり前期割れ

	FY2024 第3四半期 (百万円)	FY2025 第3四半期 (百万円)	増減 (百万円)
社会インフラ、防災	3,124	3,005	△ 118
環境、都市・地域創生	1,078	1,169	91
モビリティ形成	2,179	2,239	59
合 計	6,381	6,414	32

BS 貸借対照表

健全な財務水準を持続（3Q借入金総額は保証債務（注）を除いて25.5億円）

科 目	FY2024 第3四半期末	FY2024 期 末	FY2025 第3四半期末	対 前期末比
資産の部	12,040	9,284	12,373	3,089
流動資産	6,946	4,274	7,290	3,016
現金及び預金	1,562	1,723	2,083	360
その他	5,384	2,551	5,207	2,656
固定資産	5,094	5,009	5,083	74
有形固定資産	4,082	4,152	4,204	52
無形固定資産	235	42	33	△ 9
その他	776	814	845	31
負債の部	4,620	1,755	4,421	2,666
流動負債	4,347	1,465	4,210	2,745
短期借入金	2,550	-	2,550	2,550
その他	1,797	1,465	1,660	195
固定負債	273	289	210	△ 79
長期借入金	(注)159	(注)142	(注)109	△ 33
その他	113	147	101	△ 46
純資産の部	7,420	7,529	7,952	423
総 資 産	12,040	9,284	12,373	3,089

流動比率173.2%

FY2024 第3四半期末	FY2024 期 末	FY2025 第3四半期末
159.8%	291.7%	173.2%

固定比率63.9%

FY2024 第3四半期末	FY2024 期 末	FY2025 第3四半期末
68.7%	66.5%	63.9%

自己資本比率64.3%

FY2024 第3四半期末	FY2024 期 末	FY2025 第3四半期末
61.6%	81.1%	64.3%

(注) 従業員持株会支援信託ESOP導入に伴う信託口に対する債務保証額（連結財規）

CF キャッシュ・フロー計算書

期首計画に沿ったキャッシュ・フロー状況

- ◆ 営業CF：計画どおり推移中
- ◆ 投資CF：計画どおり推移中（子会社本社社屋建設投資・OA関連設備投資）
- ◆ 財務CF：FCFに応じて計画どおり短期調達（期末短期借入金ゼロ計画）

（単位：百万円）

	<u>FY2024</u> 第3四半期	<u>FY2024</u> 期末	<u>FY2025</u> 第3四半期	<u>FY2025</u> 期末（見込み）
税引前当期純利益	997	1,162	860	1,200
営業キャッシュ・フロー	△2,132	717	△1,826	630
投資キャッシュ・フロー	157	36	△176	△180
財務キャッシュ・フロー	1,907	△661	2,363	△200
現金及び現金同等物の増減額	△68	93	359	250
現金及び現金同等物の期末残高	1,562	1,723	2,083	1,973

2. 2025年6月期通期の計画

- ・通期（FY2025）の計画値
- ・PBR向上施策／株主還元施策



通期（FY2025）の計画値

現段階で期首計画に修正はありません

◆ 4Qのポイント：稼働率・生産性の維持と海外受注の回復

(単位：百万円)	<u>FY2023</u> 実績	<u>FY2024</u> 実績	<u>FY2025</u> 計画	対前期増減
売上高	8,566	8,526	8,800	274
営業利益	1,194	1,135	1,200	65
経常利益	1,202	1,135	1,200	65
当期純利益	808	670	850	180
営業利益率	13.9%	13.3%	13.6%	0.3%
ROE	12.5%	9.3%	10%以上	—

PBR \geq 1.0に向けて、ROE10%以上を維持しつつ、PER向上施策の強化

目標指標（成長性・効率性）

売上高成長率	5%/年平均
営業利益率	10%以上
ROE	10%以上
売上高・研究開発費率	5%以上
株主総利回り	中長期的な向上

$$\text{ROE} \times \text{PER} = \text{PBR}$$

自己資本利益率 株価収益率 株価純資産倍率

高いROEの持続とPERの向上

高水準ROE維持施策

■ 人的資本投資

採用・育成の強化、職場環境整備で収益力向上

■ 知的資本投資

特許、共創戦略等で成長基盤の強化

■ 生産資本投資

DX推進、社内システム高度化等で、生産効率の向上

■ 拡張資本投資

資本提携・MA戦略の推進による事業領域拡大、グループ経営強化による収益力・効率性の向上

PER向上施策

■ IR/PR強化

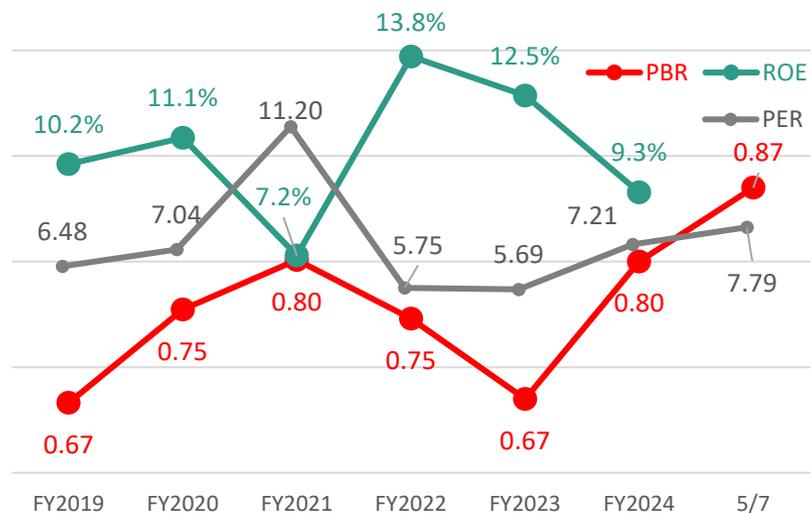
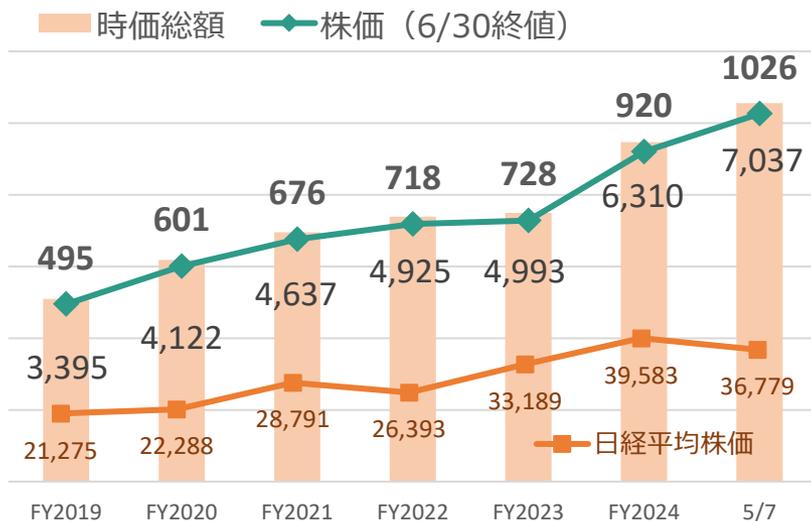
投資家コミュニケーション、積極的な広報・情報提供により企業認知度の向上

■ 株主還元施策

株主還元施策を強化することで、株主価値向上、株主とのエンゲージメント施策の強化

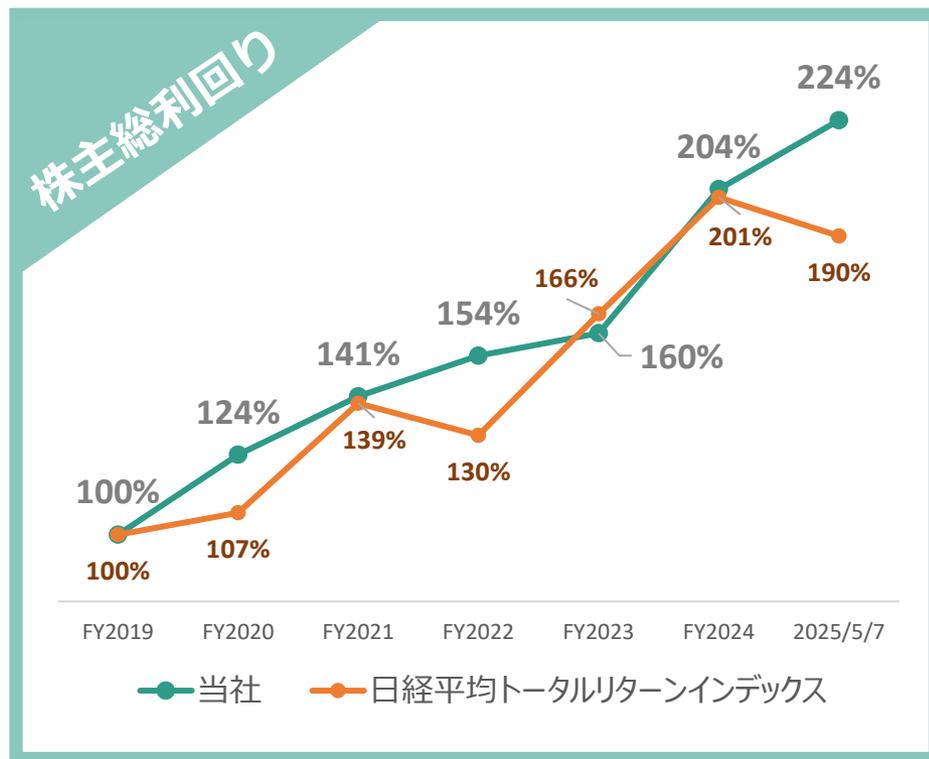
株価等の推移 現状の整理

株主総利回りはN225TR以上、PBRはいまだ1.0倍未満の水準



FY2025目標水準

- ① PBR 1倍以上 ② PER 10倍以上
- ※成長投資の拡大、IR・PRの強化、配当還元と株式価値向上施策の実施



株主還元施策① 増配

増配を実施 (前回予想) 30円 ⇒ (今回予想) 45円 (うち記念配当10円)

◆増配

上場30周年を迎えたことを踏まえた記念配10円を加えて「**年間45円**」(30円⇒45円)

【背景・理由】

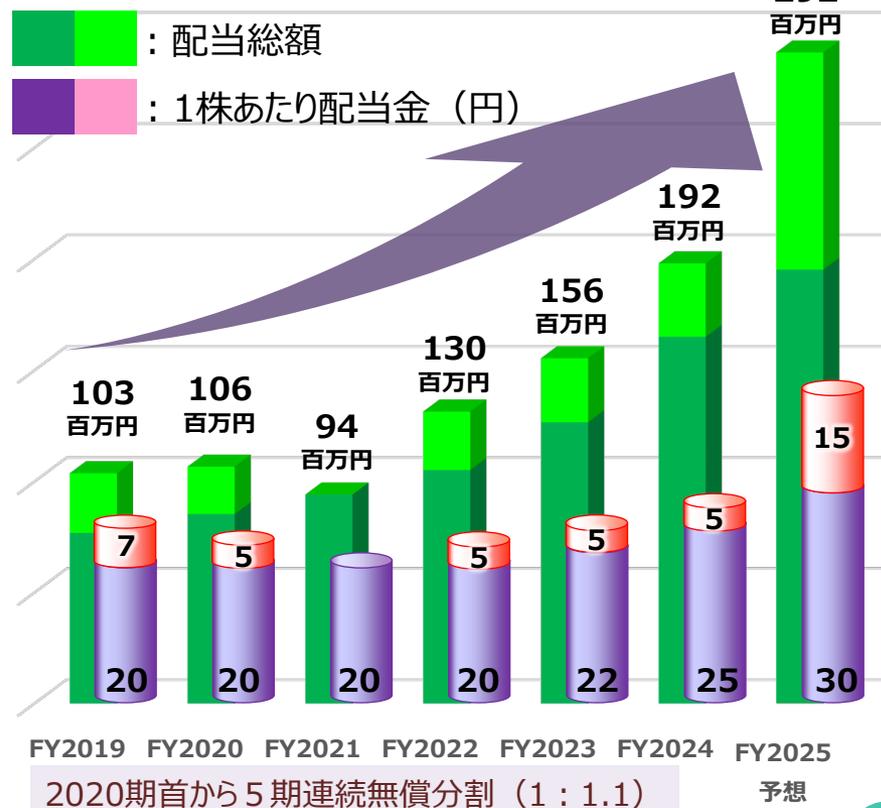
- ・「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関して」を2023年8月10日開示済
- ・今期末(2025年6月30日)までに、PBR 1倍超え、PERは10倍以上が目標

⇒会社の成長を目指した積極的な投資などが最重要、並行して**安定的な株主還元が必要**

- ・現在の株式市場の状況や今後の経営環境、財務状況等を勘案
- ・本年3月で株式上場30周年

⇒今期末配当予想を、**1株につき15円増配し、年間45円に修正**

【参考】配当金の推移



株主還元施策② 保有自社株の消却

市場での自社株買いは今期は実施しない ⇒ 自己保有株式の消却を実施

◆ 自社株買いについて

市場からの自社株買いについて検討した結果、下記理由から「**実施しない**」こととします。

市場から自社株買いを行うことは、低い流動性を更に押し下げる可能性が高いことから、今期の市場からの取得は見送る

◆ 自己保有株式の消却について

自己保有株式を消却（単年度のRS等への活用相当分を除いた自己株式残高はゼロとなります）

1. 消却する株式の種類	当社普通株式
2. 消却する株式の総数	90,000株（消却前の発行済株式総数に対する割合1.31%）
3. 消却予定日	2025年6月30日

【参考】

消却後の発行済株式総数 : 6,769,483株

消却後の自己株式数 : 42,571株

（注）自己株式数には株式給付信託口保有の当社株式83,500株及び持株会信託口保有の当社株式136,700株は含めておりません。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

基本は技術を企業集団の**Strong Culture**として、

「新しい価値の創造により社会の持続的発展への貢献」を続けます。

引き続き、倍旧のご支援をよろしくお願い申し上げます。



広報部長 フランジヨイス since1996

- ◆当プレゼンテーション資料は、株式会社FCホールディングスおよびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでおります。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。
- ◆当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売却、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。

株式会社 FCホールディングス E-mail:ir@fchd.jp TEL:092-412-8300 FAX:092-412-8303